





故、其事をえ果さぬ、記せり。皇国の何書、小出た、少や知らぬ、宋司馬光、資治通鑑、小吳主孫權、黃龍二年正月、使將軍衛溫、諸葛直、將甲士萬人、浮海求夷洲、同五年二月、衛溫、諸葛直、軍行經歲、士卒疾疫、死者什八九、溫、洲絕遠、卒不可得、至得夷洲、數千人、還、溫直坐无功、誅胡三省、注、後漢書、東夷傳、引、會稽海外、有夷洲、及亶洲、傳言、秦始皇使徐福、將童男女數千人、入海求蓬萊、神仙、不得、福懼、誅不敢還、遂止、此洲云、沈瑩、臨海水土志、曰、夷洲在臨海東南、去郡二千里、土地无霜雪、草木不死、四面是山、谿云、云、今人相傳、倭人、即徐福止王之地、國中至今、廟祀徐福、云、云、吳志、小亶洲、在海中、長老傳言云、云、徐福、復を、つひ、人民時有至、會誓、貨市、會誓、東縣、人海行、亦有遭風流、移至亶洲者、所在絕遠、云、云、衛溫等、還、亦、復、を、同、年、小、係、たり、或、説、小夷洲、亶洲、の、琉球、国、を、つひ、云、る、也、然、説、あり、か、彼、黃龍、二年、の、即、御、祖、命、攝、政、三、十、年、小、の、被、奴、也、の、皇、国、近、く、來、り、論、を、け、し、の、類、聚、大、補、任、揭、曉、筆、を、つひ、云、御、代、廿年、廿五年、三十七年、四十四年、小、并、小、新、羅、や、合、戦、の、由、見、え、る、若、く、ハ、吳、賊、孫、權、が、來、叛、せ、し、を、混、傳、を、た、り、少、や、お、ち、り、ゆ、れ、も、御、祖、命、及、大、臣、大、連、た、ち、の、神、策、速、謀、小、の、密、小、人、を、吳、魏、の、国、小、遣、を、異、賊、の、情、状、を、窺、を

世給、ひ、ま、む、夏、の、あ、む、び、や、も、定、め、が、た、り、故、暫、く、天、書、の、傳、を、本、文、小、あ、ひ、つ、る、を、皇、因、小、云、む、徐、福、が、王、を、為、る、や、ある、の、皇、国、小、ま、れ、琉、球、小、ま、と、偏、配、の、一、小、里、を、賜、を、皇、に、接、し、を、云、る、も、赤、縣、太、古、傳、小、王、を、小、里、小、長、を、あ、り、者、を、い、ふ、彼、国、の、例、を、皇、に、論、を、た、り、が、如、し、冬、読、書、餘、も、吾、所、云、守、者、彼、或、記、為、王、薩、摩、王、豊、後、王、之、類、也、是、不、知、皇、国、无、封、王、制、且、世、有、其、土、者、皆、呼、為、守、而、然、也、や、あ、り、を、案、ふ、る、也、○、四、次、の、蒙、士、の、も、惑、ふ、も、た、り、ハ、序、小、驚、一、た、り、小、あ、り、也、○、四、十六年、丙、春、三、月、乙、亥、朔、斯、摩、宿、禰、を、任、那、國、の、あ、たり、卓、淳、國、小、遣、一、つ、り、小、卓、淳、王、未、錦、早、岐、の、告、一、つ、り、ハ、甲、子、の、年、七、月、小、百、濟、國、を、久、氏、弥、川、流、莫、古、の、つ、ふ、三、人、の、も、此、我、國、小、到、り、曰、く、百、濟、王、東、方、小、日、本、や、い、ひ、く、貴、國、あ、を、と、聞、く、臣、等、を、一、つ、朝、貢、し、め、む、や、道、を、求、む、為、小、斯、土、小、來、り、ぬ、も、一、臣、等、を、教、く、道、を、通、せ、給、を、我、王、深、く、君、王、を、德、

せむや、ソノ未錦早岐對<sup>ハ</sup>。本より東方ふける貴國あり  
 や、聞えれや、いまた参<sup>マ</sup>。夏あつはとぞ、其道をたふ知  
 らひ、海遠なれむ、大船ふ乗<sup>ル</sup>。僅<sup>ワツカ</sup>ふ得<sup>エ</sup>まわらる<sup>ル</sup>。ソノ  
 かを、使等ゆ<sup>ク</sup>。此度ハ、え恭<sup>ラ</sup>ら<sup>ド</sup>。更<sup>サ</sup>ふ還<sup>マ</sup>。船を備<sup>ヘ</sup>。奉<sup>ル</sup>  
 々々。若<sup>モ</sup>も。貴國の天使來<sup>キ</sup>給<sup>ヒ</sup>。必<sup>ニ</sup>吾國ふ告<sup>ツ</sup>給<sup>ヒ</sup>。よ  
 や。ソノ還<sup>ル</sup>。皇中申<sup>ヒ</sup>。ソノ斯摩宿禰<sup>シマノ</sup>。その僮人爾波移<sup>ニハヤ</sup>  
 小阜淳人<sup>トクシユヌ</sup>過古<sup>ク</sup>を添<sup>ソ</sup>。百濟國ふ遣<sup>ハ</sup>。其王を慰<sup>ホ</sup>勞<sup>メ</sup>。しむ  
 時、百濟王肖古<sup>セウク</sup>深<sup>ク</sup>歡<sup>ヒ</sup>。厚<sup>ク</sup>あ<sup>ラ</sup>。ひ。ソノ五色の絲  
 絹<sup>キヌ</sup>各一疋と、角弓<sup>ツツラシキ</sup>箭鐵<sup>ネリカネ</sup>鋌<sup>ツ</sup>四十枚<sup>ツ</sup>を、尔波移<sup>ニハヤ</sup>おね<sup>ク</sup>。王<sup>ミ</sup>。その寶  
 藏<sup>アキ</sup>を開<sup>キ</sup>。諸の珍異物<sup>ソツラシキ</sup>やもを、示<sup>セ</sup>。我國ふか<sup>ク</sup>。珍寶多<sup>ク</sup>

かれも、貴國ふ貢<sup>ル</sup>らむや、欲<sup>オモ</sup>る<sup>ル</sup>。道<sup>ミチ</sup>は、人<sup>ヒト</sup>ま<sup>ス</sup>。江<sup>カ</sup>知<sup>ル</sup>らぬも。  
 ソノも、せむ、されや、使<sup>ツキ</sup>を立<sup>ツ</sup>。尋<sup>ツキ</sup>。貢<sup>タテマツ</sup>献<sup>ル</sup>。る<sup>ル</sup>。ソノを。  
 尔波移<sup>ニハヤ</sup>即<sup>ツ</sup>還<sup>ル</sup>。斯摩宿禰<sup>シマノ</sup>ふつ<sup>ツ</sup>。は、其<sup>ノ</sup>由<sup>ヲ</sup>を白<sup>ク</sup>。ぬ。か<sup>ク</sup>  
 宿禰<sup>トクシユヌ</sup>の阜淳國<sup>トクシユヌ</sup>の政<sup>セウ</sup>を、つ<sup>ツ</sup>。皇國<sup>カヘリ</sup>ふ復<sup>カヘリ</sup>。ま<sup>ス</sup>。申<sup>ヒ</sup>。され<sup>ル</sup>。る。  
 ○四十七年<sup>丁卯</sup>夏四月、百濟王肖古<sup>セウク</sup>其臣久<sup>ク</sup>氏<sup>テ</sup>弥<sup>ニ</sup>洲<sup>ツル</sup>流<sup>ル</sup>。莫古<sup>マクコ</sup>を  
 新羅<sup>ミソキソカヒ</sup>の調使<sup>マキテ</sup>ふ付<sup>ケ</sup>。來朝<sup>マキテ</sup>せ<sup>ル</sup>。貢物<sup>ミツク</sup>奉<sup>ル</sup>。ら<sup>ル</sup>。む。ソノ御祖<sup>ミソノ</sup>命<sup>ノ</sup>  
 御子<sup>ミソノ</sup>命<sup>ノ</sup>を御覽<sup>ミソノ</sup>。いた<sup>ク</sup>。歡<sup>ヒ</sup>。し<sup>ム</sup>。ら<sup>ル</sup>。哀<sup>ハ</sup>。し<sup>ム</sup>。給<sup>ヒ</sup>。  
 先皇<sup>マキテ</sup>の望<sup>ミ</sup>給<sup>ヒ</sup>。國人<sup>マキテ</sup>。今來朝<sup>マキテ</sup>き<sup>ル</sup>。先皇<sup>マキテ</sup>の現世<sup>イラ</sup>ふ坐<sup>マ</sup>  
 ませぬ<sup>イタマ</sup>。痛<sup>イタマ</sup>。い<sup>タ</sup>。ぬ。詔<sup>イラ</sup>ひ出<sup>イ</sup>。る<sup>ル</sup>。御前<sup>ミマ</sup>  
 小侍<sup>オモ</sup>の臣<sup>オモ</sup>等<sup>オモ</sup>。皆<sup>オモ</sup>を兼<sup>オモ</sup>。り<sup>テ</sup>。泣<sup>ナク</sup>。悲<sup>ヒ</sup>。し<sup>ム</sup>。あ<sup>ラ</sup>。ぬ。人<sup>ヒト</sup>ハ<sup>ア</sup>。あ<sup>ラ</sup>。ぬ。

大日本史贊ふ。應神天皇の御覽を。及百濟新羅朝貢。慨然  
思慕乎先帝之不能及見。至使廷臣感泣。可不謂之純孝至  
德之君乎。かゝるその二國の貢物を檢校し給ふ。新羅  
の貢ハ珍異物ソツシキツヤ多く。百濟のハ少く。且劣ホトり。これハ久  
氏等テハ其トよきを問せ給る。臣等道ヤツコラハ迷ヒクひ。新羅國沙比  
少シツハ地チハ至シ里リ。時新羅人臣等トヲ捕トつ。三月の間獄ヒトヤハ  
禁イマシめおさく。既イハ殺コさむ。や侍シつ。臣等シハ天神トハ  
呪詛トコひ。これハ新羅人オハ其オハ恐オる。命イシキのみハ助け。臣シハ  
國の貢物をシハ取ク。即ソハ新羅國の貢物シハ。新羅  
の賤物シハ。臣國のヤツシハ為ナさ。め。申シハ。此  
少シツハ天朝シハゆめれ漏モラ。聞モラえ上アケを。ナクハ

還カ上カ來コむ時必キ汝等ニを殺コさむと申セ。小因コハかくちむ賤  
物シハ貢コふ。小シハ申シ。小シハ詔シ。新羅使シハ責サさせ  
給ヒ。天津神シハ祈ノ給ヒ。百濟シハ誰人タレを遣ツ。事  
の實否マコトイカリを檢カる。む。新羅シハ何人ナニを遣ツ。か。その  
罪ツミを推問カシカト。祈ノ白シ。給ヒ。天津神シの命イシキも。武内宿  
禰ニハ事謀シらせ給ヒ。子熊長彦コクモナカヒコ。武藏國シの人ヒト。額カシ  
濟シ記シハ職シ麻那シ々シ加シ。を御使シ。遣ツ。給ヒ。御願シの如  
く。必キ復コト成ル。や教悟シ。給ヒ。小シハ子熊長彦シを新羅  
小遣シ。百濟シの御調物シを穢ケカ。濫ニタ水シ。小シハ詰問シさせ  
給ヒ。桓武天皇シ。延曆九年シ。近肖古王シ。及シ。遙シハ聖化  
を慕シ。始シ。貴國シハ聘シ。則シ。神功皇后シ。攝政シの年



小令オホせトキイ。精兵イササキ領ネめしキ。汝白蓋盧ニカハや共ト小渡ツカハし遣ツカハせし。か  
 々二人將軍ミイシサ軍衆ミイシサを卓淳ツツお大ツツ小集ツツをツツしツツ。ゆツツ新羅國  
 を伐ツツしツツ。たツツ攻ツツ破ツツす。天書ツツ小ツツ新羅和ツツを請ツツく。貢物ツツを  
ツツ奉ツツるとあり。ゆツツをツツ東國ツツ通ツツ鑑ツツ  
ツツ仁德ツツ天皇ツツ五十二ツツ年ツツのツツ夏ツツとツツせツツす。また比ツツ自ツツ本ツツ南ツツ加ツツ羅ツツ喙ツツ國ツツ  
ツツ安羅ツツ多羅ツツ卓ツツ淳ツツ加ツツ羅ツツのツツ七ツツ國ツツを平定ツツす。ゆツツ兵ツツを西ツツ方ツツ小移ツツし  
ツツ古ツツ奚ツツ津ツツやツツいツツ邊ツツにツツ廻ツツ到ツツす。南蠻ツツ阮ツツ彌ツツ多ツツ礼ツツ等ツツいツツ  
ツツ地ツツを屠ツツく。百濟ツツ肖ツツ古ツツ王ツツ小賜ツツひツツぬ。あツツの時ツツ肖ツツ古ツツ及ツツ王ツツ子ツツ貴ツツ須ツツも。  
ツツ軍ツツを領ツツく。將ツツ軍ツツの御營ツツ小參ツツす。謁ツツ奉ツツす。ゆツツをツツ比  
ツツ利ツツ辭ツツ中ツツ布ツツ弥ツツ支ツツ半ツツ古ツツやツツいツツ邊ツツ四ツツ邑ツツも。自ツツ降ツツ伏ツツす。ゆツツ小  
ツツ肖ツツ古ツツ父ツツ子ツツ意ツツ流ツツ村ツツやツツ荒田ツツ別ツツ命ツツ及ツツ木羅ツツ介ツツ資ツツ等ツツ小會ツツ見ツツ

え奉ツツす。深ツツくツツいツツまツツひツツ白ツツく。厚ツツく禮ツツ饗ツツす。ゆツツ二人ツツの將  
ツツ軍ツツを皇國ツツ小逸ツツ返ツツし奉ツツす。ゆツツ惟ツツ千熊ツツ長ツツ彦ツツのみツツ留ツツす。ゆツツ肖  
ツツ古ツツ中ツツ百濟ツツやツツ辭ツツ支ツツ山ツツ小登ツツす。盟ツツかツツす。又ツツ古沙ツツ山ツツ小上ツツす  
ツツく。共ツツ小磐ツツ石ツツの上ツツ小居ツツす。肖ツツ古ツツ先ツツ盟ツツひツツ白ツツせツツる。ゆツツ草ツツを志ツツ  
ツツきツツ座ツツやツツせツツむ。或ツツハ火ツツ小燒ツツれツツむ。また木ツツもツツ座ツツやツツせツツむ。恐  
ツツらくツツ水ツツ小流ツツとツツむ。故ツツ磐ツツ石ツツ小居ツツす。盟ツツひツツ申ツツせツツる。ゆツツ長ツツく  
ツツ遠ツツく。易ツツるツツ証ツツを顯ツツす。白ツツくツツ今ツツ後ツツ千秋ツツ万ツツ世ツツ。  
ツツ絶ツツるツツ亦ツツ無ツツく。窮ツツみツツ無ツツく。ゆツツ西ツツ蕃ツツやツツ稱ツツす。春秋ツツの朝貢ツツ  
ツツ奉ツツす。ゆツツ千熊ツツ長ツツ彦ツツをツツ都ツツ城ツツ小請ツツひツツす。ゆツツ  
ツツ厚ツツく禮ツツ遇ツツを成ツツす。ゆツツのツツらツツまた久ツツ氏ツツ等ツツを副ツツるツツを。

逸王歸一奉王くる。○五十年庚午春二月。荒田別命。韓國より  
 還来く復命一給ひ。荒田別命。鹿我別王ともいふ。父王の御名  
 強たる。偉丈夫なり。父王の御名  
 を字御く。墜し給ふぬ。いさむゆ。いさ王ともいふ。姓氏  
 録。佐自努公を。其命の後やめぬ。神名帳。常陸国。新治郡  
 佐志能神社。其命を祀りぬ。か。ま。夏五月。千熊長彦  
 紀伊国。那賀郡。荒田神社。二座や云とあり。久  
 氏。久氏等や共小還王朝ぐけり。あ。小御祖命歡む。久  
 氏。小海西の韓國ハ。既小汝國小錫ひつる。何故かく。數々  
 請來つるや。詔る。久氏敬く奏さく。天朝の御徳の遠く弊  
 邑まゝ被しあやを。臣が王甚く歡ひつ。心小任うたぐ思  
 なるま。天使の還ませる。小附く。誠款の至を奏さふ。心  
 まれよ。後万代まゝ。何の年。朝ぐ仕る奉らゆ。心

や奏せし。かむ。御祖命聞召る。朕も志る。心し思ひつるや。宣  
 給ひく。多沙城を。百濟國小増給。其その皇國へ往還ふ  
 路の驛舎や爲し給る。天書。扶桑畧記。濫觴板。夏  
 四月。諸州小詔。駁路を作る。  
 行路小便せしむとあり。若くは去の多  
 沙城の夏を混し傳た。ふあり。○五十一年辛春  
 三月。百濟王肖古。久氏を遣はく。貢物献る。あ。小御  
 祖命。御子命や武内宿禰や。小詔給る。朕が交親む百濟  
 國ハ。天津神の授給る。國小。人力の志。作ふあり。故  
 歲時小闕る。常小貢物奉る。あ。今よ。後  
 の御代も。御代スレの如く。彼國も。敷く。太く惠り給く。乘給ふや。詔給



もくひる。さきさき久氏クテが罷還マカリる時小千熊長彦を遣ツく。其  
 王ミコ詔ミコトノコトしめ給タマふる。朕ミコト天アマつ神カミ等ナリの御言ミコトノコトのまじく。始ハジメく道ミチ  
 路チを開ヒラき海西ニシノクニを平定コトメケす。己ミコ汝カ國クニ小賜タマひくき。今イマち和厚ニシく  
 好ヨシを結ムスひく。永トコく々クク小寵賞メクシ給タマひくむや詔ミコトノコトせる時。肖シラ古コ父子  
 みれ拜オカみ恐オソみく白シロく々ククの。貴國キクニの御惠ミコトノケチハ。天地チチより重オモく。  
 大オホき事コトを。何ナニの日ヒ。何ナニの時トキ。を忘ワシれ奉タマらむ。聖皇ヒミコノミコ上ノミ小坐マす。  
 日月ツキヒの如ノく明アカく大座オホマシ々ク。臣ヤツコまシ下シ小居イる。山嶽ヤマカの如ノく固カタ  
 く待マツる。常トコく々クク小西蕃國ニシノミヤツクニや称ナヅケす。戴心フタをく。仕奉シタマる  
 むや白シロくき。○五十二年ニ。申ニ秋アキ九月十日。千熊長彦の歸朝リマキれ  
 る時。久氏等クテナリまシ後ノチひ参マシる。七ナナ枝エダ刀ヤ一ヒトつ。七ナナ子コ鏡カガミ一ヒトまシ種タネ

々の寶物タカラモノをシと献ヲす。記キ亦ナ亦ナ貢コト上ノミ横刀ヨコヤ及カ大鏡オホカガミやあり。同  
 歌ウタハ。古今コノイマ六帖ムツシ小見ミえ。梁簡文リョウカンブガ詩ウタハ。形カタ全ゼン七シチ子コ鏡カガミとあり。七  
 枝エダのシり。上田秋成ウエダアキナリ。富士谷脚杖フジノヤノシヅメ等ナリの説ワカもあり。と煩ワザ々クれむ  
 引出ヒキ出デ。○因ユふシの。後ノチの御代ミコトノヨリ小重オモき物モノとシたシまシる。太刀  
 契ケツや併ヒせ称ナヅふ。二太刀ニタガハ。安貞四年ヤシキなり。官史クワンシ記キハ。坎御代カンミヨト小  
 百濟國ヒヤクサイクニより献ヲさる。と見ミえ。その委オモき状カタハ。塵袋チリフクロ小一ヒト  
 三公サンコウ戰鬪センブ劔ケンと名ナづク。又將軍劔ヤマトノリと。破敵劔ハツテと。いハ左サ小  
 三皇サンクワン五帝ゴテイ形カタ南斗ナンブ六星ロクホウ。青龍セイリウ形カタ西王母セイバウボの兵刃符ヘイブツフを圖ズハ。右ミ小  
 北極ホクキョク五星ゴホウ。北斗ホトク七星シチホウ。白虎ハクコ形カタ老子ラジ破敵符ハツテを圖ズハ。護身劔ゴシンケンハ。  
 疾病シヤク邪氣ジャキを除ノく。劔ケン左サハ。日形ニシカタ南斗ナンブ六星ロクホウ。朱雀シュクワ形カタ青龍セイリウの形カタ  
 を圖ズハ。右ミハ。月形ツキカタ北斗ホトク七星シチホウ。玄武ヘンブ形カタ白虎ハクコ形カタを圖ズハ。錦云キンウン歳サイ  
 在ア庚申ケイシン正月シツグツ。百濟ヒヤクサイ所造シヨウゾウ。三七サンシチ鍊刀レンタガ。南斗ナンブ北斗ホトク左サ。青龍セイリウ。右ミ。白虎ハクコ。前  
 朱雀シュクワ。後ノチ。玄武ヘンブ。避深ヒシ不祥フシヤウ。百福ヒヤクフク會就ケイジウ。年トシ齡レイ延長エンチヤウ。万歳マンサイ。无極ムキョクとあり。  
 由ユふシ。護身劔ゴシンケンハ。御所ミヤノの大御護オホミヨゴと為ナり。給タマひ。破敵劔ハツテハ。朝  
 小敵チノテをシ奉タマる。逆賊ギャクテクを平治ヘイジ小遣タマはる。大將軍オホヤマトノリ小給タマふる。節刀セツタガ  
 やシ物モノを。村上天皇ムラノミカド。天德四年テンタクニの燒ヤクハ。少オホ燒損ヤクシした  
 了マ。安倍ヤシ晴明ハルアカ朝臣チカ小仰オホソノゾクせ。修理シウリ王オウ。瑩エイ給タマひ。は。應  
 和元年ワノトシ七月シツグツ。備前ビゼン國クニ鍛冶カ日根安生ヒメヤシを。高タカ雄山ユヤマ小シ更マシ小  
 劔ケンを鍛カる。給タマふ。坎御代カンミヨトハ。天文博士テンモンダシ賀茂保憲カモノタカノリ朝臣チカ。神護

○神功皇后御傳記下卷

寺少く勤む。一條院天皇寛和二年十一月内裏炎上ふり。大  
 刀契多く焼損し。堀河院天皇寛治八年十月焼凶あり。靈劍  
 焼損し。護身劍ハ青龍鱗小残り。朱雀ハ尾ののりあり。破  
 敵劍ハ五星中の二星ヤ。王母ガ兵刃符鱗小残りヤ。節  
 刀を錫ふと。元明天皇和銅三年。越後蝦夷等ガ反奉り。  
 大戸勢麻呂卿を大將軍に任ず。在せ給ふ時。始り賜る。  
 大とち。や。委く見ゆ。大の節刀を賜ふ礼も。中世より久く  
 絶た。を。豊臣秀吉公の北條氏を伐り。時奏し上り。去  
 世を賜る。を。烈祖成績小見えたり。猶二劍の事。中右  
 記。禁秘御抄。世俗浅深秘抄。桃華葉葉等小。委く見えたり。を。  
 伴氏ガ大刀契考。及吾々皇典翼小就く。閑る。新撰六帖  
 小。衣笠内大臣。の。国の。ふたつの大刀ハ。昔より。君ガ守を  
 小。定め。め。さ。は。奏し。ひ。臣。國。の。西。七。日。路。程。あ  
 り。詠。給。り。

此山をむ侍る。此山の鐵を取らせ。

聖朝ミカド永く貢コトす。む。ま。古々の孫トムル枕流小申し。ひ。

我ら今仕奉る。海東ヒムカシの貴國ハ。天神ツより我ら仕奉らせ給。

る。御國ミクニを。天恩ニウオン小頼ヨる。海西ニシの國々を分ワケり賜。

て。國クニ基永く固カタく。成ナる。汝ニよ。土ツつ物を蓄ツク

集め。貢物奉コトる。睦ムツび奉コトる。我死シた。も。少コトも恨。

む。あ。や。は。是コトより。後トシヨトハ。年毎トシト小遺オツ

る。貢物コトを。奉コトる。五十五年イ。百濟ヒヤクサイ王オ。

身ミを。此人の子孫コノミコノミコ也。皇國ミヤクニ小多く歸化キカす。石野イノ連ノ大。

丘造ウカ三善ミタカ宿禰スネ春野ハルノ連ノ面氏オモ。巴汶ハモ氏シ。汶斯モシ氏シ。真野マノ造ノ。錦部ニシノ造ノ。寺。

皆々の末裔オノノミコの氏々ノミナ也。石野イノ以下以下。姓氏シメイ。○五十六年イ。丙ノ詔ミコトノコト。

百濟ヒヤクサイ王オガ子貴ミコタカ須スる。國クニ王オヤ為ナる。賜コトる。○六十二。

年トシ。新羅シラ國クニも。貢物コト仕奉コトる。襲津ウツ彦ヒコ命ノミコトを。遣ツクる。